



リニューアル版 ラップニュース

VOL.243

2023.6.1

発行：ラップ東京株式会社
<https://www.raptokyo.co.jp/>
(無断転載厳禁)

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「漢字の書き取り」

皆さん、最近手書きで何かを書いていますか？

手書きで書くことがめっきり減った現代。メールも書類もパソコンやスマホで入力、漢字も変換で候補がわかり、とても便利です。それなのに、学校などでは漢字の書き取りを練習帳にびっちり何回も書いて学んでいます。「トメ」「ハネ」が少しでも違っていたら、先生にバツにされてしまいます。将来、パソコン、スマホだけで済むなら漢字の書き取りなどせずに、変換技術だけを学んだほうが良いのでは？ と思うことがあります。漢字だけではありません。外国語だって、プログラミングだって、AIにお任せすれば何とかなりそうです。

AIをどのように使いこなすのか、教育現場、企業内でもいろいろと模索しています。膨大な知識をもち、瞬時にそれをアウトプットできるAI。GOOGLEも瞬時に膨大な検索結果が表示されますが、上位に表示されるのは広告で、1ページ目に表示されているのに、少々、的外れの情報が表示されていることがあります。調べたいことが明確なら、ChatGPTのように軍配が上がりそうです。

さて、「質問」を考え、入力するのは？ それは「人」です。まずは質問が必要です。先日、〇〇業界の競争が激しいので差別化できるPR方法はないですか？とChatGPTへ質問してみました。何項目も回答がきて、参考になるものもあります。売上があがりそうだけどハードルが高いがどうしたらいいのか？ それを実現させるためには、まず何からスタートするのか？ など、

自分が探し求めていた回答を得るために、適確な質問を続けます。質問自体が思いつかない、まだ気づいていない、ときはAIの知識も意味がありません。

昔から、新しいアイデアやひらめきは、何気ない会話の中や見たこと、聞いたこと、ちよつとした経験から生まれることが多いように思います。会話には隠れたヒントが埋まっています。私自身、お客様との何気ない会話の中で参考になったことや疑問を解決できるヒントを見つけたことがあります。私たちの会話は、「質問+回答」とパターン化されることがありません。AIにできないことは？ と質問したら、複数ある中で「複雑な人間のコミュニケーション」とありました。

世間話のような雑談、相手の表情、私たちがそのときに受ける感覚など言葉にはできないものでも、仕事の手がかりはあると思います。お客様の困っていることやニーズを発見し、解決するために、お客様との会話を参考にしながら、AIの知識を活用して、新しい発見をしていきたいと思っています。

先ほどの話。漢字のテストがなくなる日が来るのでしょうか。でも、対面で文字を書かなければいけない時、平仮名だけだと少々恥ずかしいので、やっぱり書き取りもやっておいたほうが良さそうです。

ご案内

簡単更新くん

それほど高機能ではなく、
更新したいページを簡単に更新できる「簡単更新くん」

簡単らいんちゃん

つながりたいをサポートする
「簡単らいんちゃん」

【この件に関する問い合わせ】
ラップ東京株式会社
(担当：田島)
TEL: 042-349-3535

ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。

アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。 <https://www.raptokyo.co.jp/>

